

巻頭言

健康・栄養研究所長 山中 克己

名古屋学芸大学健康・栄養研究所が発足して3年が経過しました。この健康・栄養研究所は名古屋学芸大学管理栄養学部および大学院栄養科学研究科と密接な関係にあります。大学の使命として「教育」「研究」「社会貢献」があります。名古屋学芸大学管理栄養学部学生に対する教育につきましては、開学5年を経過し、昨年第1回生として166人を卒業させ、幸い就職率9割を超え、国家試験は9割の合格率で社会に送り出すことが出来ました。今年第2回生も168人を卒業させ社会に送り出すことになっています。就職率も100%に達しています。また、教員の研究活動におきましては、各教員ともそれぞれの分野で積極的研究を行ってきました。2003年の私学学術振興会研究資金も得ることが出来、文部科学省の科学研究についても4人の教員が得ておるところであります。

大学院栄養科学研究科についても、去年4月に開学することが出来、現在5名の大学院生、および2007年入学を3名予定しており、今後の研究活動はさらに軌道に乗ることと思っています。

このように「教育」「研究」は、軌道に乗せることが出来ました。が、「社会貢献」については、既存の学部、大学院の組織では、対応できない部分があり、新しい組織が必要になってきました。このような目的で作られたのがこの健康・栄養研究所であります。発足以来の3年間の歩は本報の健康・栄養研究所「一開所から今日まで」に詳細を記したとおりであります。地域の病院、福祉施設や学校、会社などに勤務されている管理栄養士の情報交換や地域に開かれた講演会を実施してきました。また、健康食品の開発や国際交流を行っているところでもあります。

最後に残されたのが、出版活動です。このような状況の中、この健康・栄養研究所年報が発刊できることは大変有意義なことと思っています。この年報は当大学の教員はもとより、地域の皆様の発表の機会になればと思っています。また、海外への我が国の栄養事情の発信にもなることを願っています。この年報を一読いただき、ご意見をいただくと共に、今後のご支援、ご指導をお願い申し上げます。